

2027年3月期第2四半期（中間期） 決算発表補足資料

証券コード 8137
サンワテクノス株式会社
<https://www.sunwa.co.jp/>

2026年10月30日

2027年3月期2Q 実績

- 売上高889.9億円（前年同期比28.3%増） 営業利益32.1億円（前年同期比119.2%増）
経常利益32.3億円（前年同期比82.7%増） 中間純利益22.1億円（前年同期比83.7%増）
- AI関連投資の拡大により、半導体製造装置業界をはじめ各業界からの需要が堅調に推移し、人手不足を背景とした省力化・効率化投資も継続しており、前年同期比で増収増益
- 受注高1,218.2億円（前年同期比67.6%増） 受注残高883.3億円（前年同期比80.3%増）
各業界からの需要が堅調に推移していることに加え、蓄電池システム関連の大型案件も継続して発生し、**2Q累計期間における受注高は過去最高を更新**

2027年3月期 通期業績予想

- 売上高1,900億円 営業利益76.4億円 経常利益79億円 当期純利益55億円
AI関連の設備投資、人手不足の深刻化を背景とした省力化・効率化投資の拡大が継続すると見込まれ、2Q業績及び直近の受注動向を踏まえ**5月公表値より上方修正**
- 売上高・各段階利益全て、過去最高の更新を見込む**

株主還元

- 毎年の配当金はDOE（連結株主資本配当率）4.0%以上を目途に、継続的かつ安定的な配当を行うことを目標に実施
- 2027年3月期中間配当・期末配当予想は5月公表値より**それぞれ5円ずつ増配**
年間配当は1株当たり140円（中間70円＋期末予想70円・DOE4.59%）とし、前年度（2026年3月期）実績の122円から**18円増配**となる見込み
- 株主優待制度として、対象となる株主様の保有株式数に応じて、**電子ギフトを進呈**

1. 2027年3月期第2四半期（中間期） 実績

2. 2027年3月期 業績予想

3. 株主還元

2027年3月期第2四半期（中間期）業績ハイライト

- ・ AI関連投資の拡大を背景に半導体製造装置業界を中心に需要が堅調に推移したほか
人手不足を背景とした省力化・効率化投資も継続し、前年同期比で増収増益

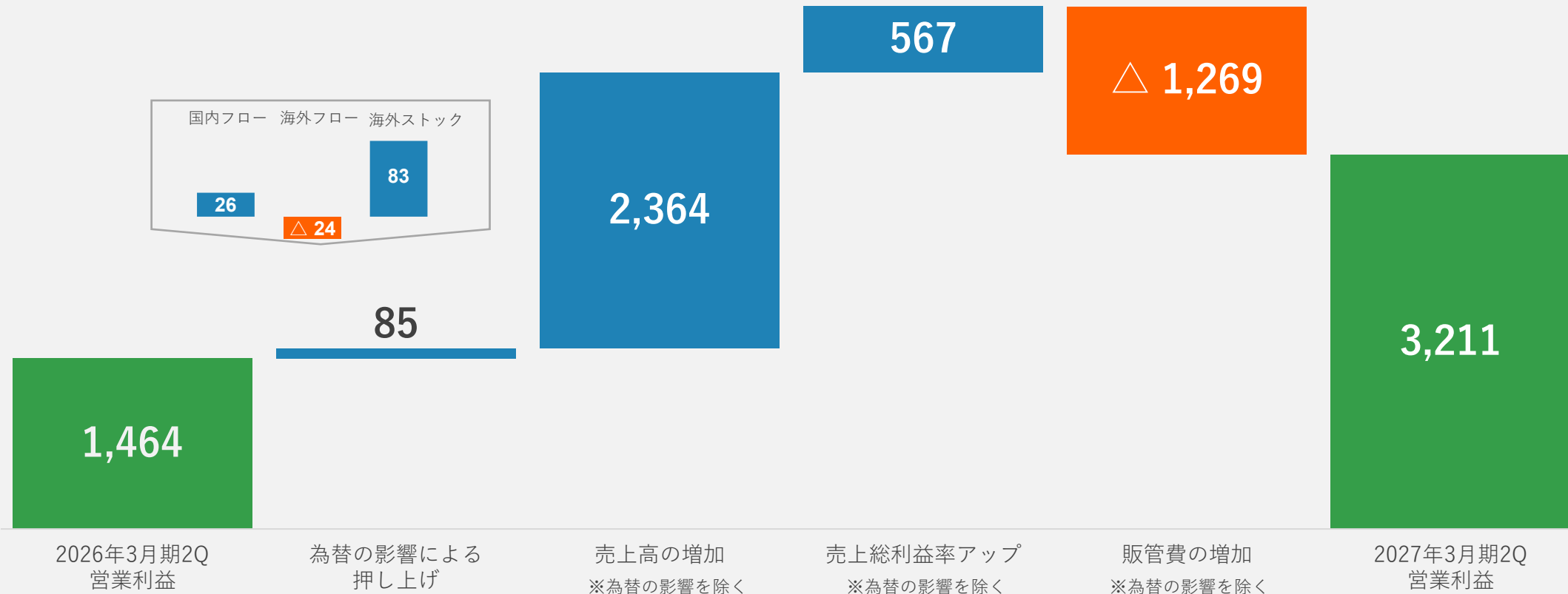
	2026年3月期 第2四半期（中間期）		2027年3月期 第2四半期（中間期）		前年比 （%）	2027年3月期 第2四半期（中間期） 業績予想	（単位：百万円） 達成率 （%）
	金額	売上高比 （%）	金額	売上高比 （%）		金額	
売上高	69,380	—	88,997	—	28.3	82,300	108.1
売上総利益	9,590	13.82	12,850	14.44	34.0	—	—
販売費および一般管理費	8,125	11.71	9,639	10.83	18.6	—	—
営業利益	1,464	2.11	3,211	3.61	119.2	2,600	123.5
経常利益	1,768	2.55	3,231	3.63	82.7	2,700	119.7
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,207	1.74	2,217	2.49	83.7	1,900	116.7
EPS（1株当たり中間純利益）（円）	79.42	—	142.22	—	79.1	122.15	—
為替レート（USD/JPY）	148.60	—	158.18	—	—	148.00	—

2027年3月期第2四半期（中間期） 営業利益 増減要因分析

- ・ AI関連投資の拡大を背景に半導体製造装置業界を中心に需要が堅調に推移したほか
人手不足を背景とした省力化・効率化投資も継続し、前年同期比で増収増益

（単位：百万円）

* フロー：通常取引での受注時と売上時の為替差の影響および
発注時と仕入時の為替差の影響
ストック：連結決算時の円貨換算レートの影響
国内＝個別 海外＝海外関連会社



2027年3月期第2四半期（中間期） セグメント別業績

- AI関連投資の拡大により各業界からの需要が堅調に推移し、前年同期比で増収増益。
- 蓄電池システム関連の大型案件が継続して発生し、2Q累計期間における受注高は過去最高を更新。

2027年3月期第2四半期（中間期）

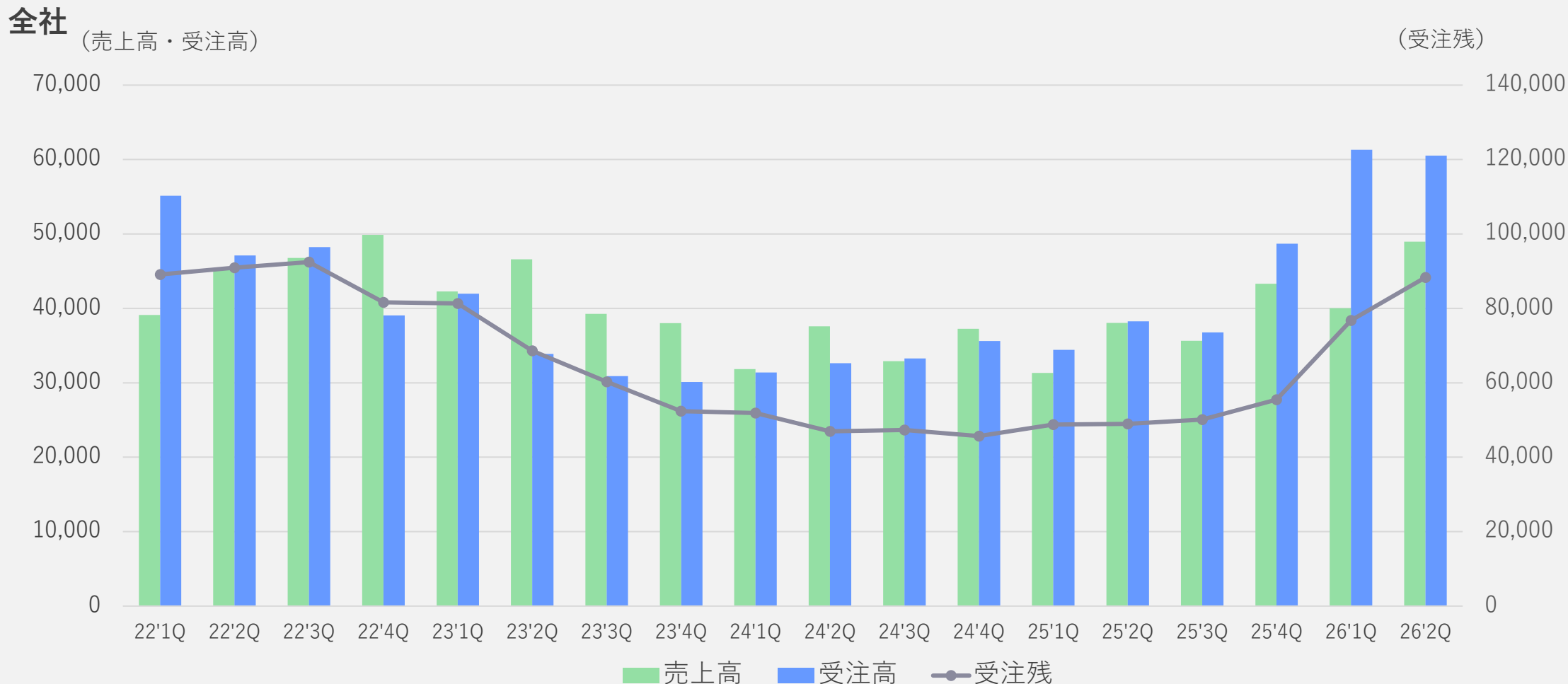
単位：百万円
() は対前年同期比増減率

	売上高		セグメント別利益		受注高		受注残	
日本	69,881	(30.1%)	2,260	(134.9%)	89,634	(75.1%)	67,735	(96.7%)
アジア	28,010	(28.3%)	927	(117.9%)	28,717	(54.5%)	18,246	(51.4%)
欧米	3,309	(9.5%)	10	(△28.7%)	3,117	(28.1%)	2,153	(4.3%)
その他	458	(21.1%)	32	(62.8%)	352	(△28.2%)	195	(△56.3%)
調整額	△12,662	(－)	△20	(－)	－		－	
合計	88,997	(28.3%)	3,211	(119.2%)	121,822	(67.6%)	88,331	(80.3%)

2027年3月期第2四半期（中間期） 四半期別業績

- ・売上高は3四半期連続で400億円を突破し、2Qとしては過去最高を更新。
- ・受注高は各業界の堅調な需要に加え、大型案件の発生により、2四半期連続で600億円を突破。
- ・受注残は着実に積み上がり、800億円台に到達。

（単位：百万円）



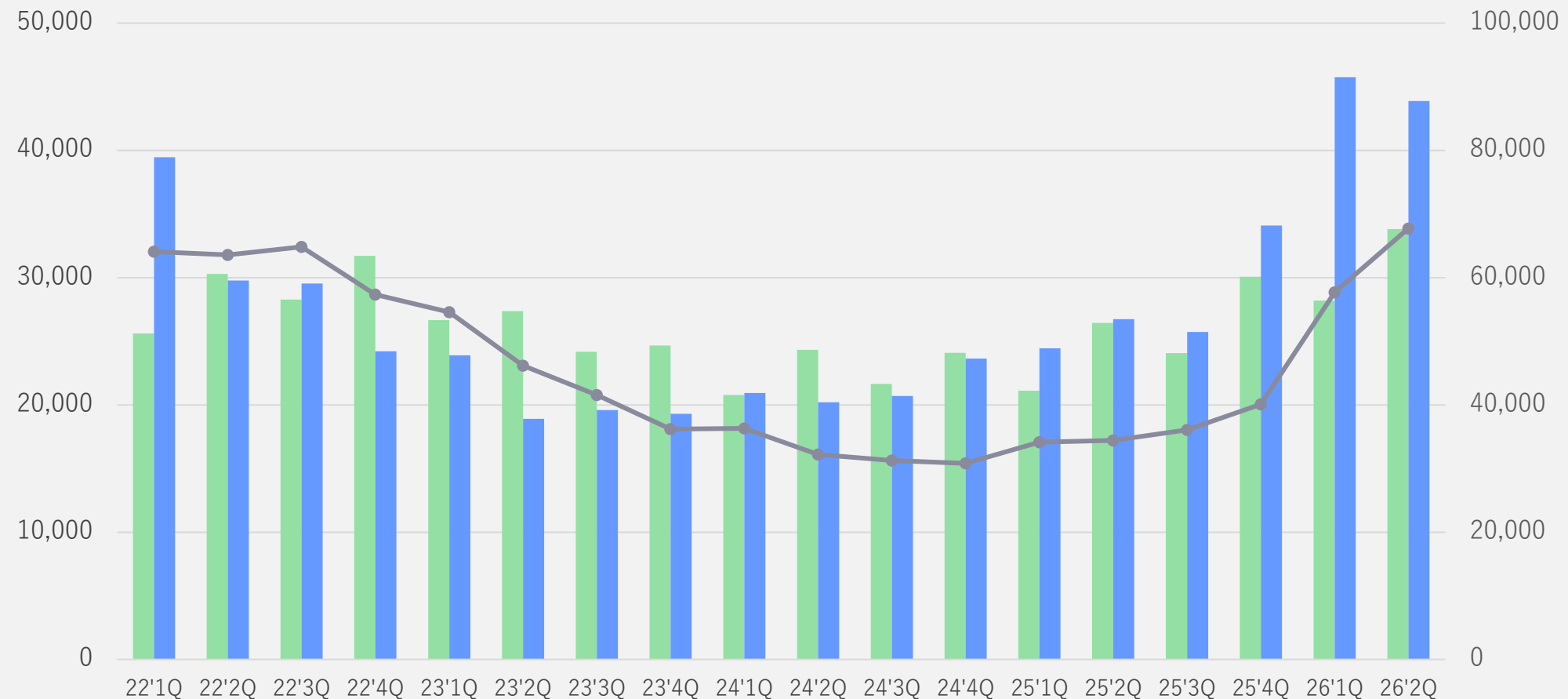
2027年3月期第2四半期（中間期） セグメント別四半期別業績

（単位：百万円）

日本

（売上高・受注高）

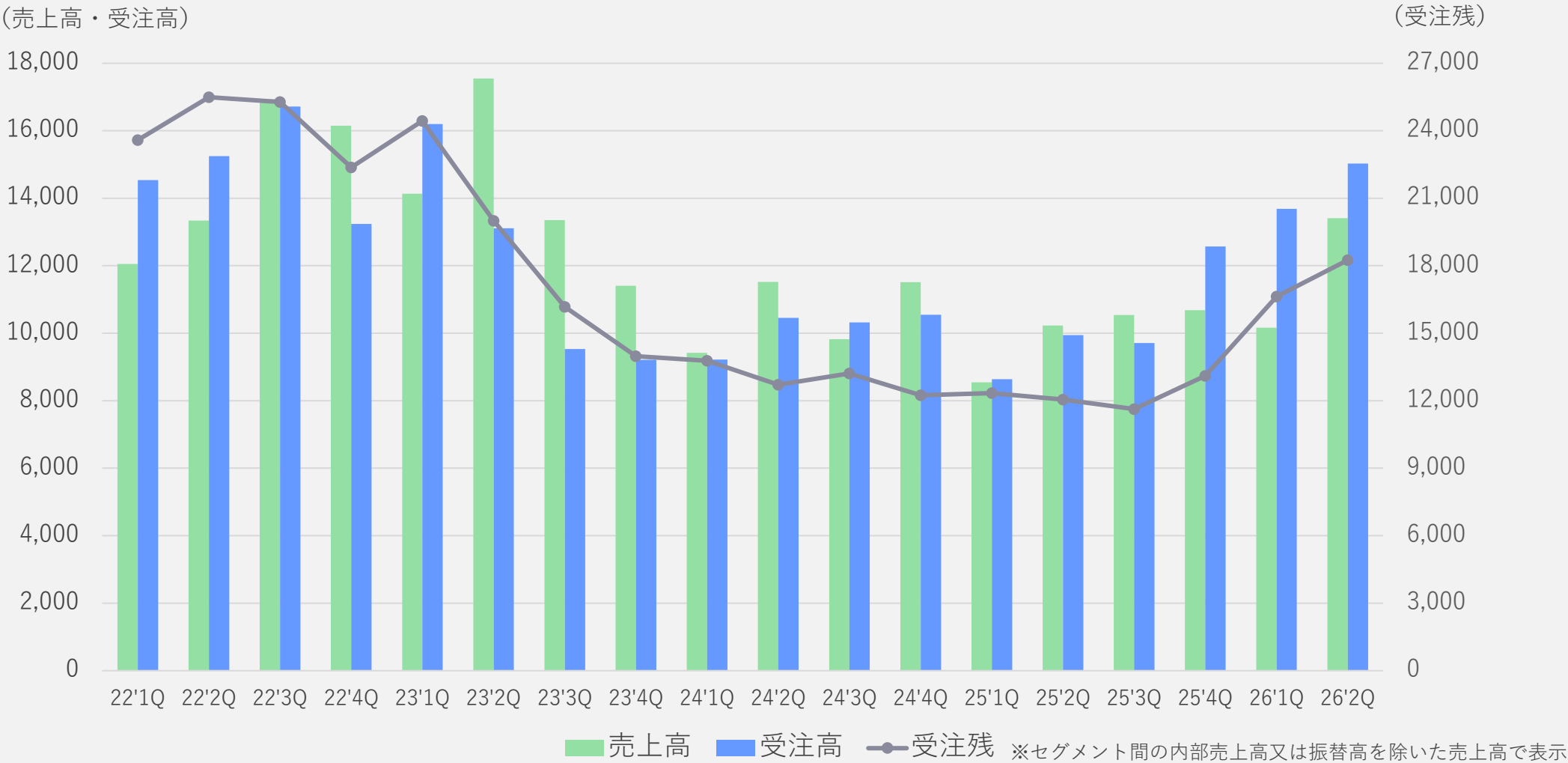
（受注残）



■ 売上高 ■ 受注高 ● 受注残 ※セグメント間の内部売上高又は振替高を除いた売上高で表示

(単位：百万円)

アジア



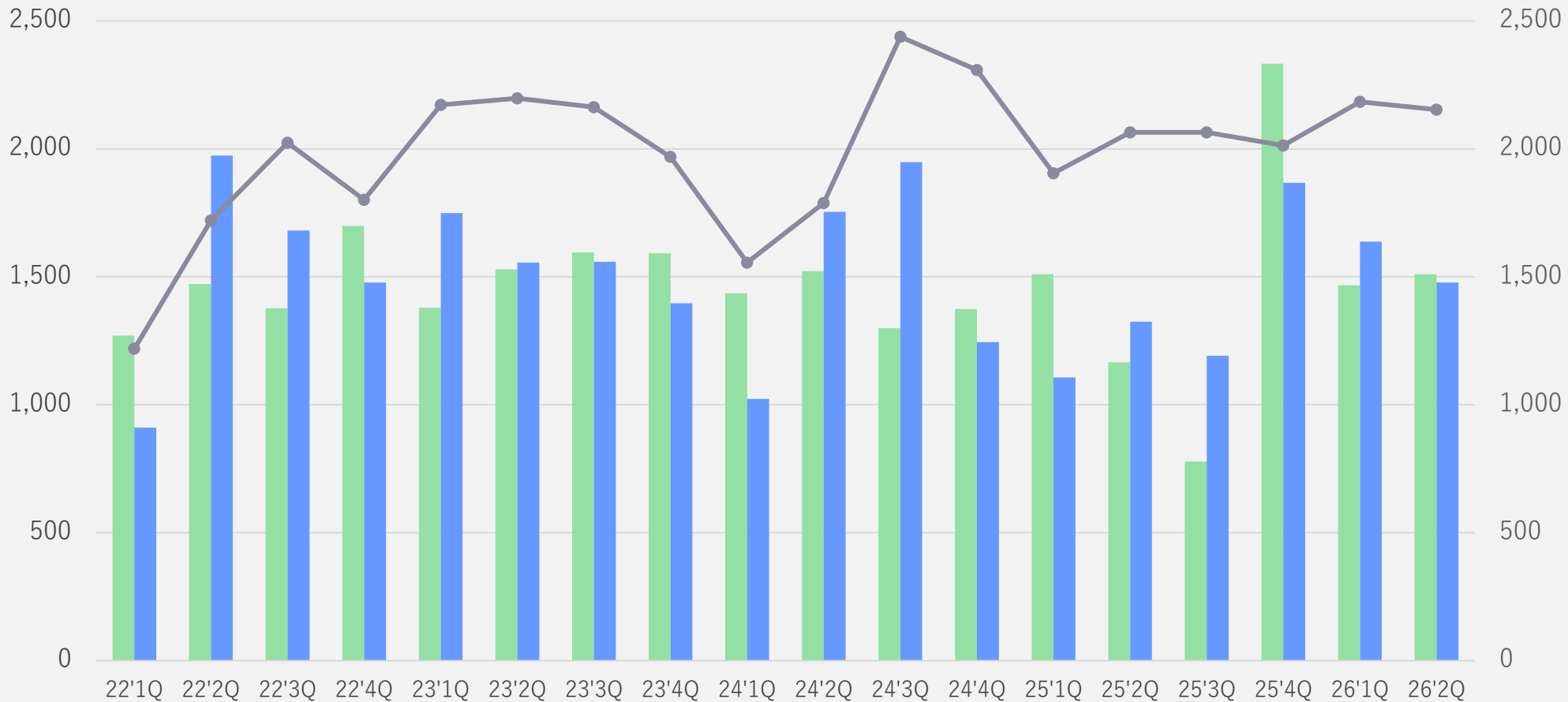
2027年3月期第2四半期（中間期） セグメント別四半期別業績

（単位：百万円）

欧米

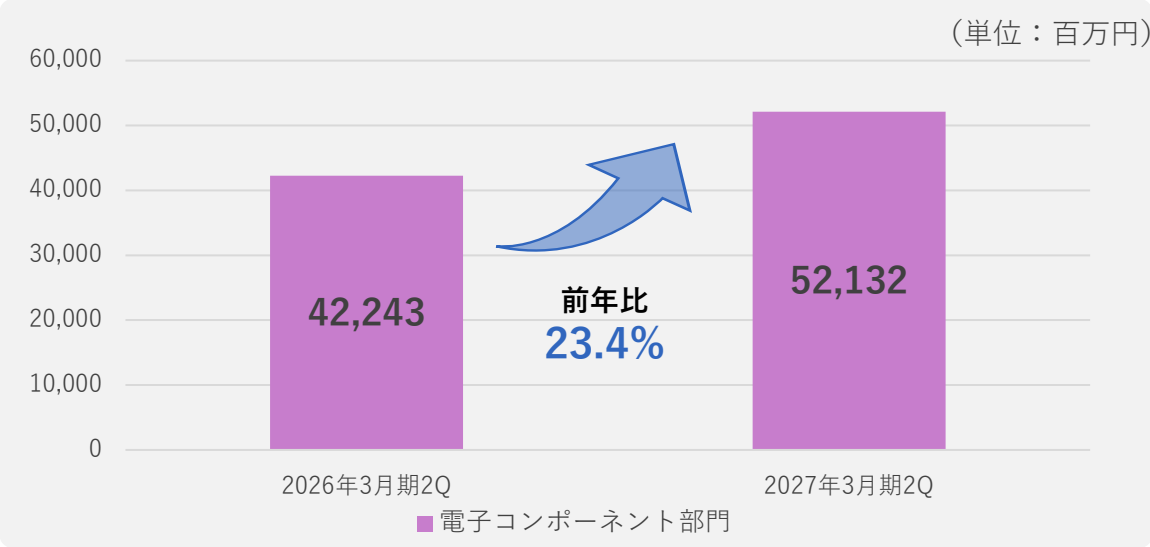
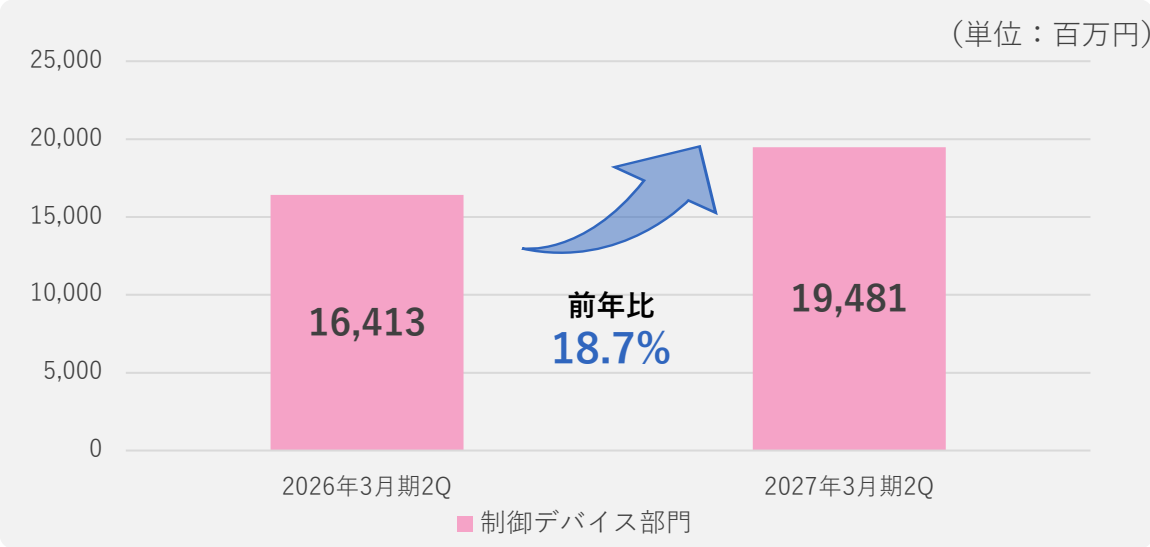
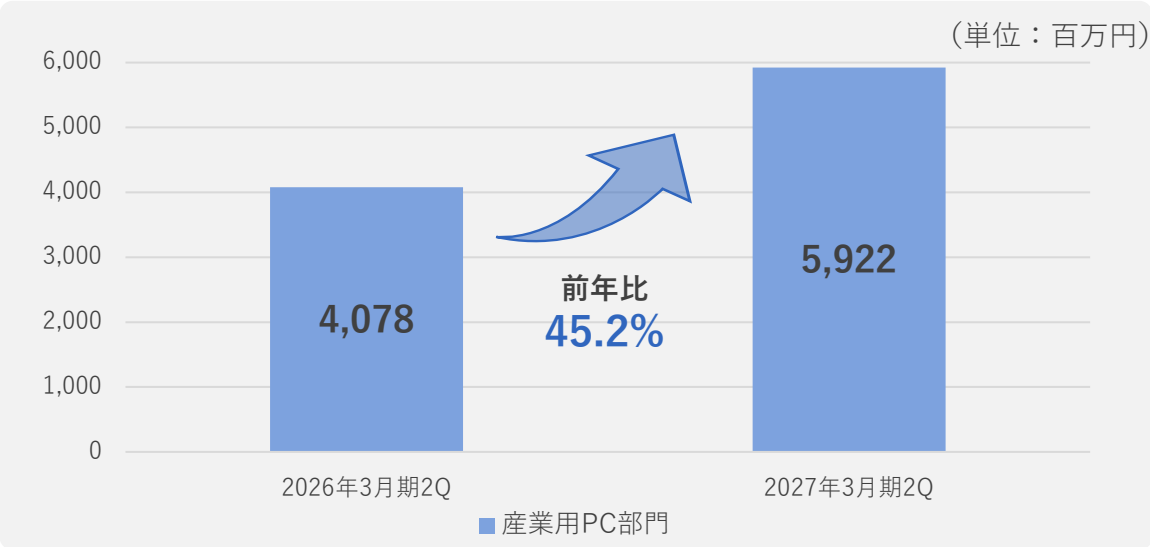
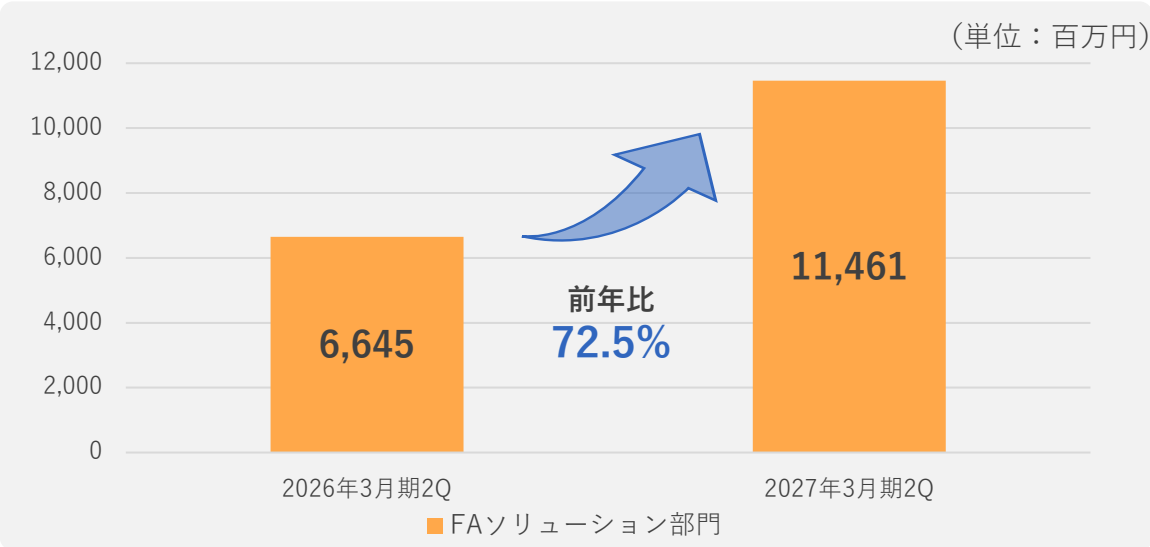
（売上高・受注高）

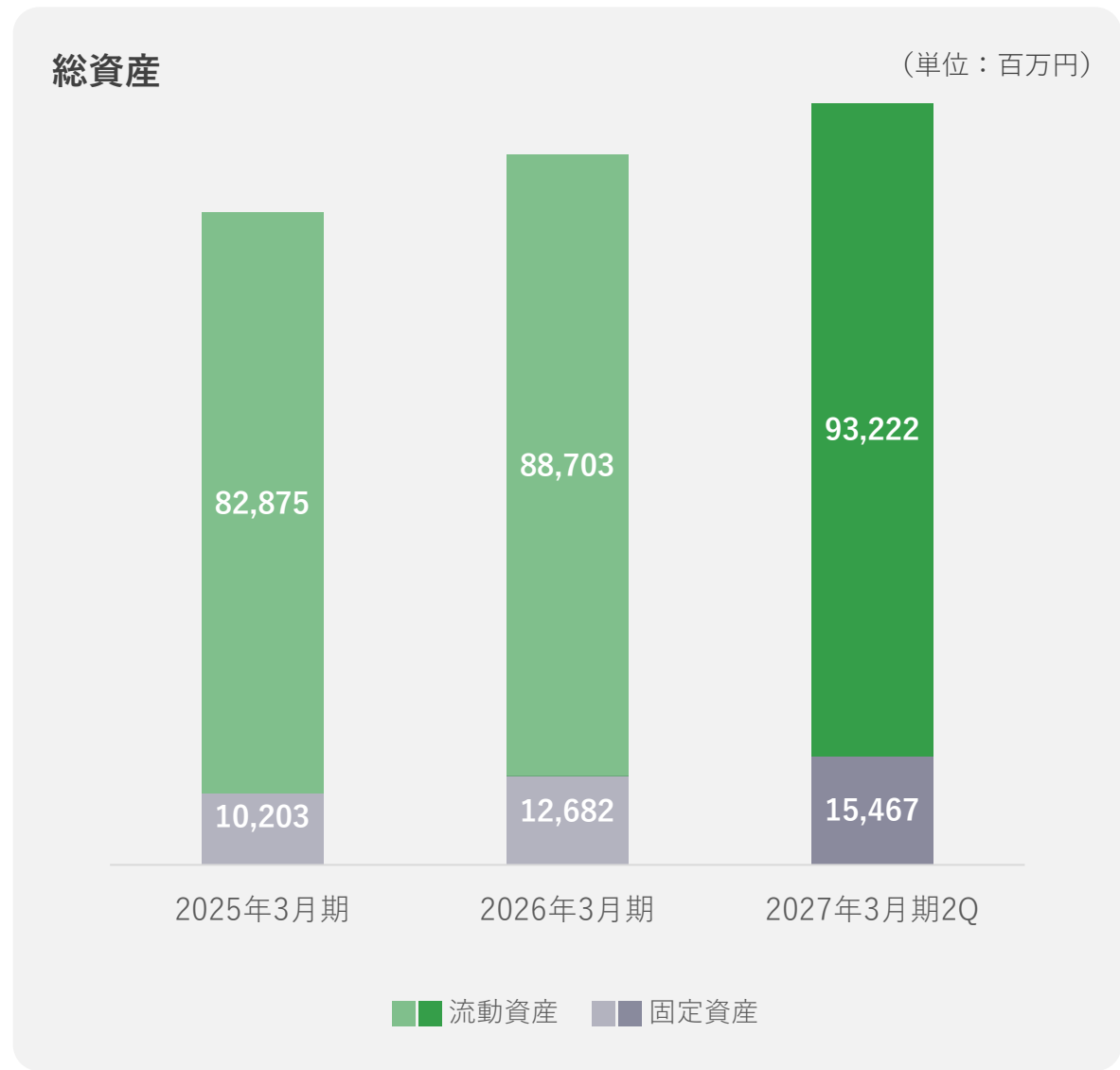
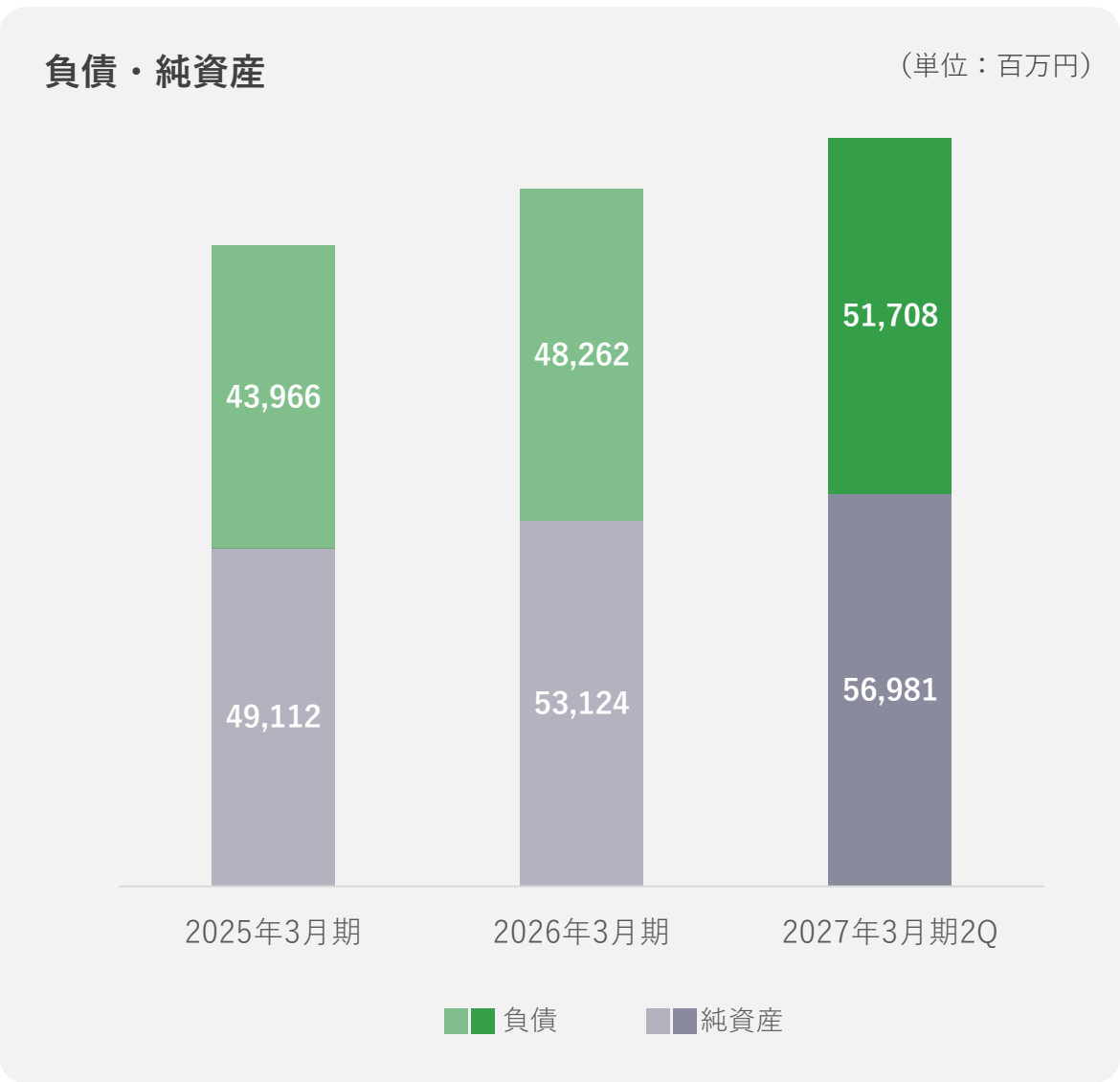
（受注残）



■ 売上高 ■ 受注高 ● 受注残 ※セグメント間の内部売上高又は振替高を除いた売上高で表示

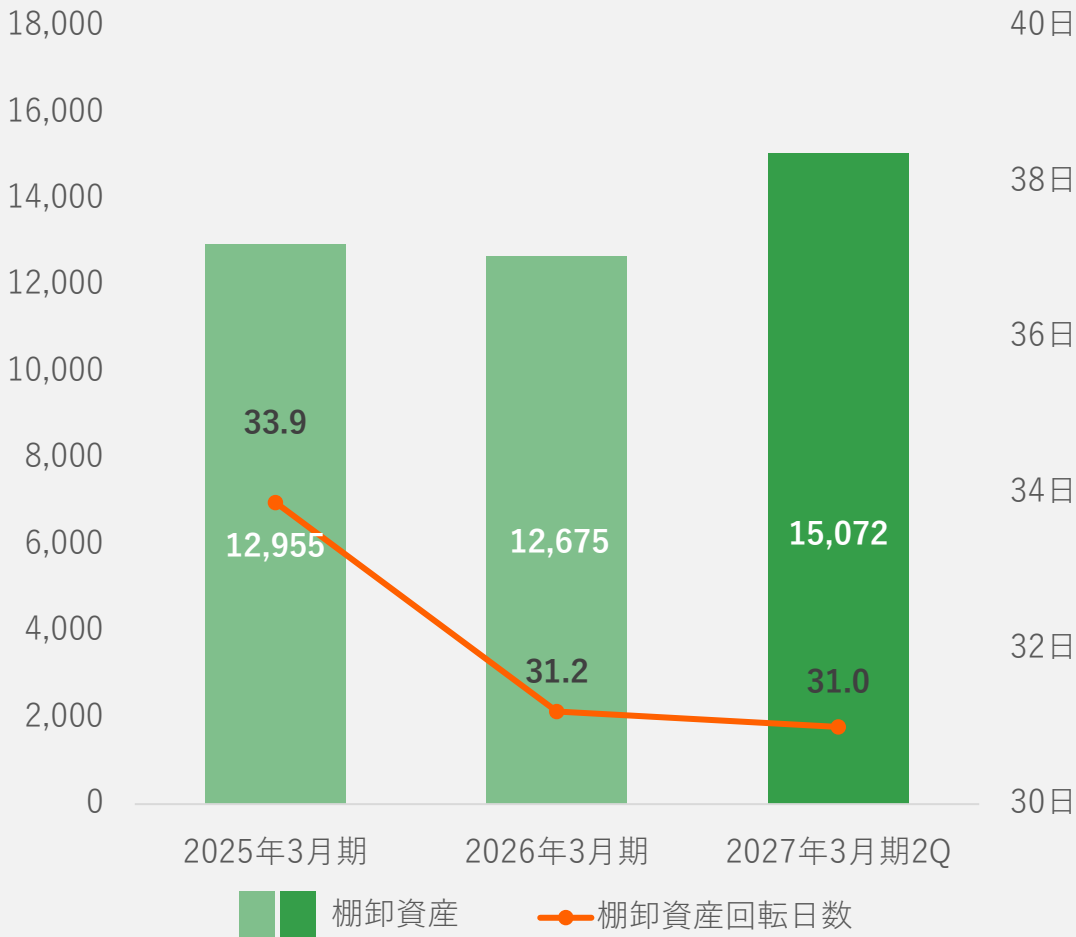
2027年3月期第2四半期（中間期） 部門別売上高





棚卸資産

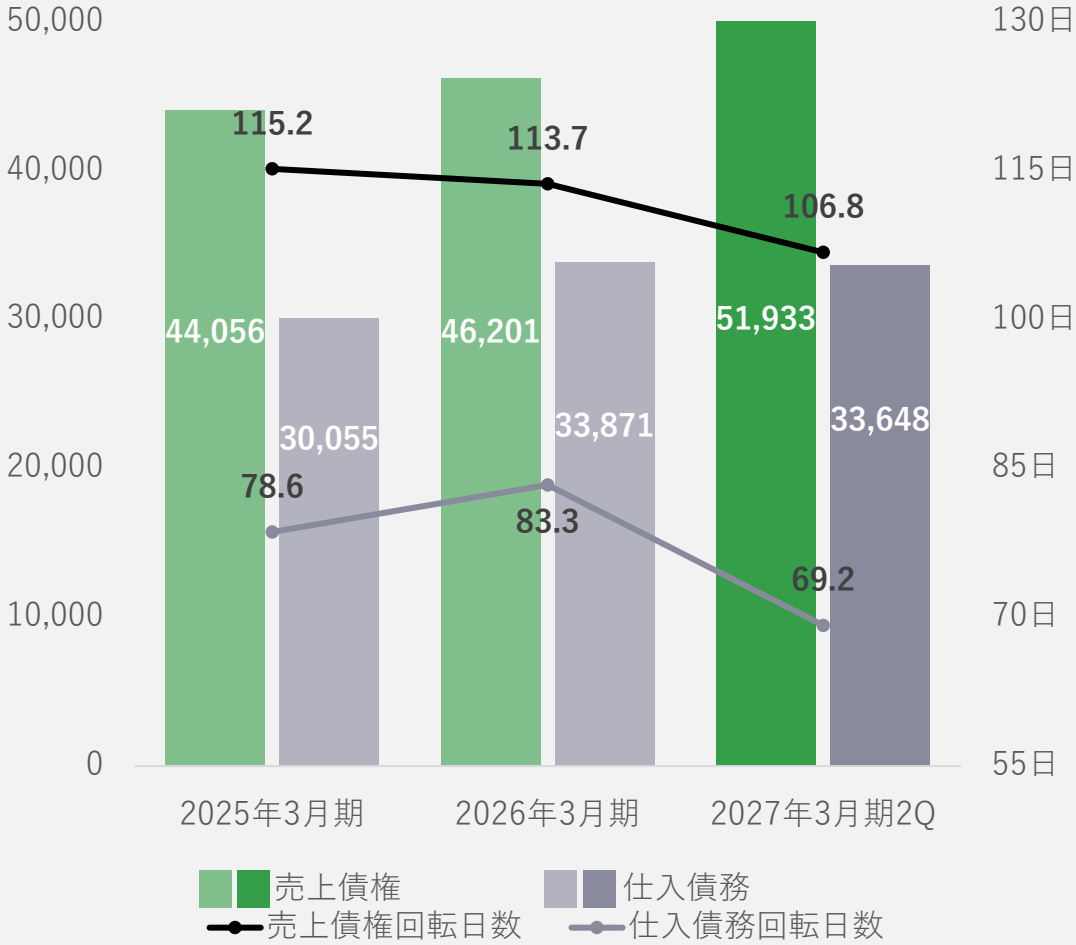
(単位：百万円・日)



(注)：棚卸資産回転日数＝棚卸資産÷売上高×365日 * 2Qは183日

売上債権・仕入債務

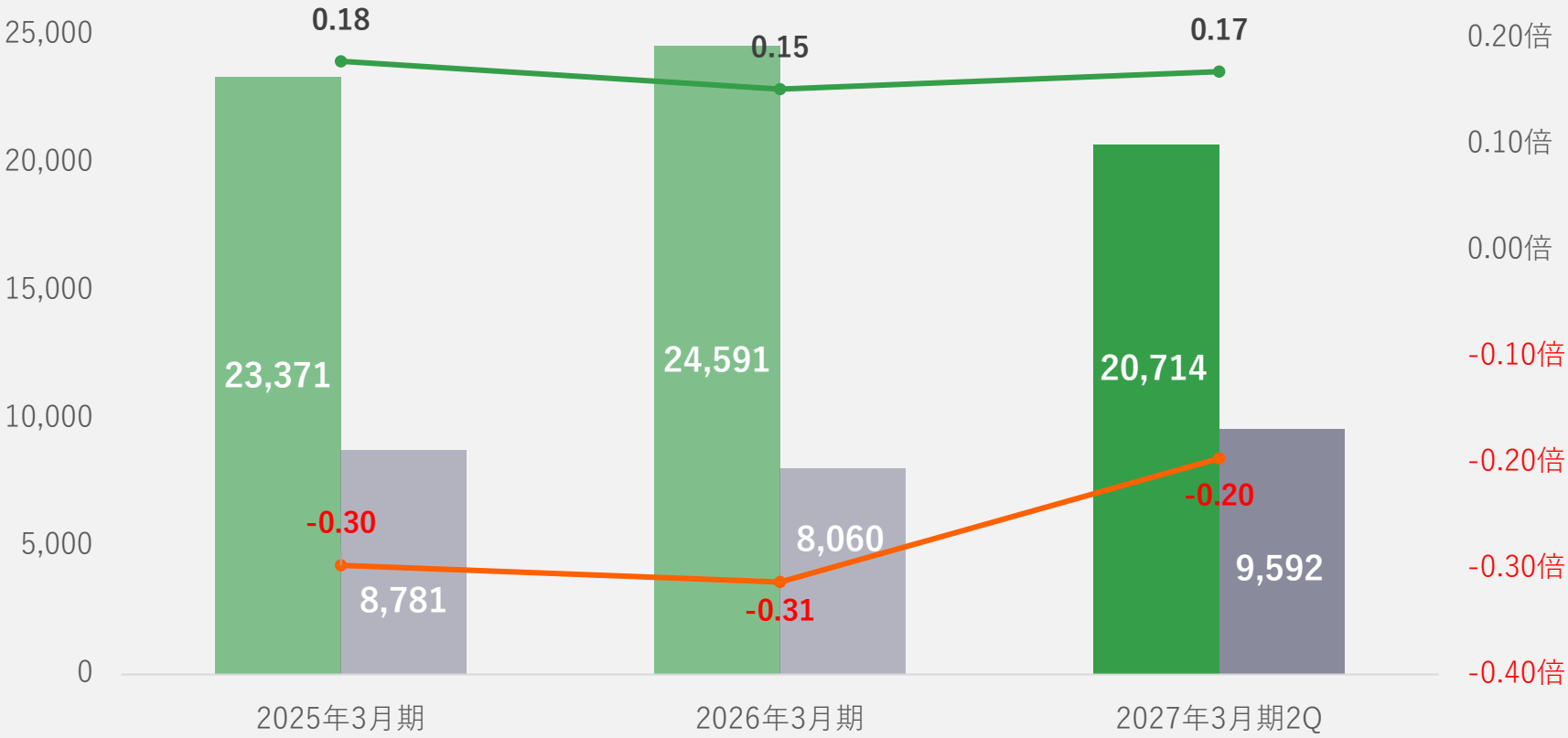
(単位：百万円・日)



(注1)：売上債権回転日数＝(受取手形、売掛金及び契約資産＋電子記録債権)÷売上高×365日 * 2Qは183日
(注2)：仕入債務回転日数＝(支払手形及び買掛金＋電子記録債務)÷売上高×365日 * 2Qは183日

現預金・有利子負債

(単位：百万円・倍)



■ 現預金 ■ 有利子負債

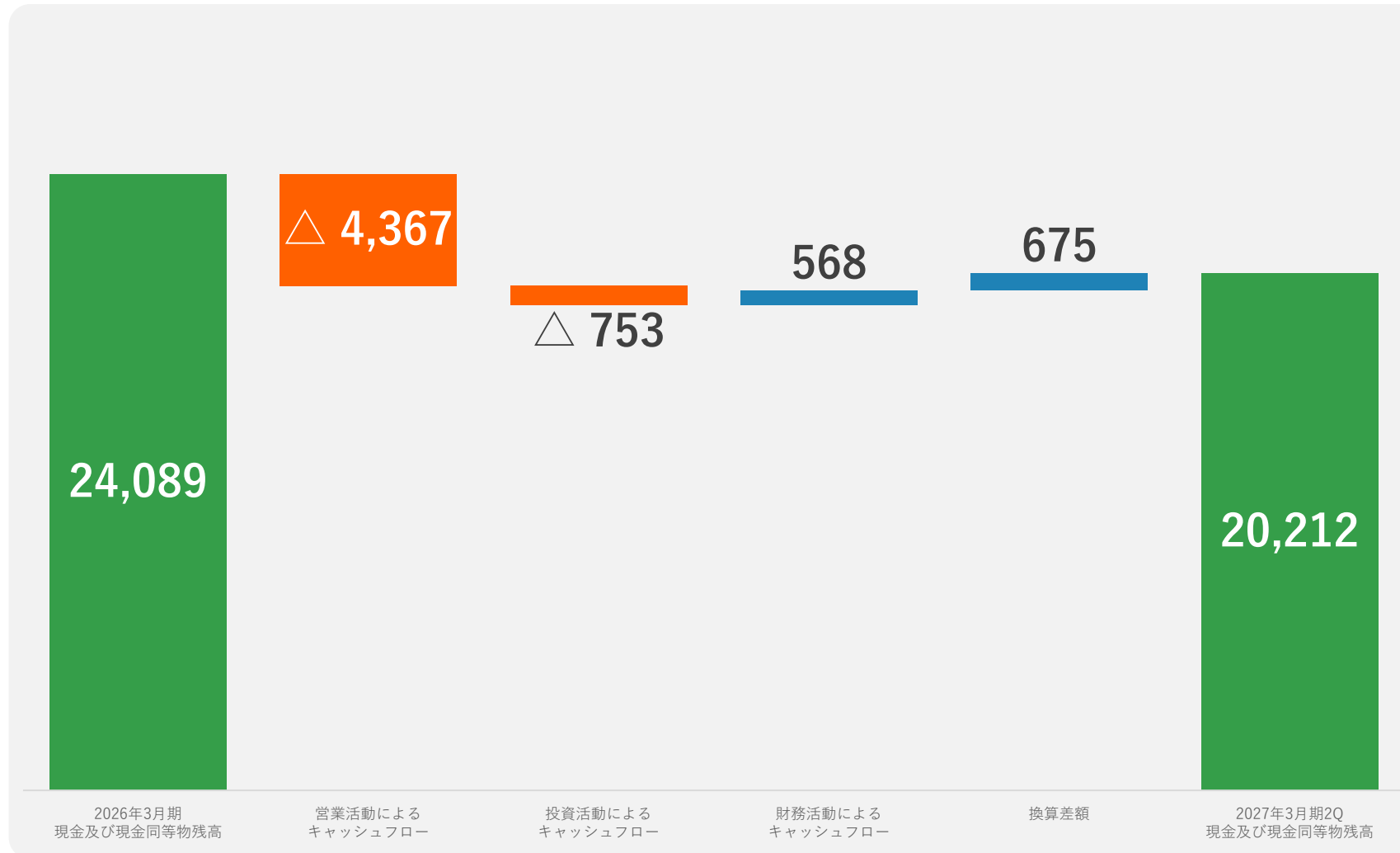
● D/Eレシオ ● ネットD/Eレシオ

(注1)：D/Eレシオ＝有利子負債÷純資産（非支配株主持分を除く）
(注2)：ネットD/Eレシオ＝（有利子負債－現預金）÷純資産（非支配株主持分を除く）
※有利子負債＝短期借入金＋リース債務（流動）＋長期借入金＋リース債務（固定）

2027年3月期第2四半期（中間期） キャッシュフロー計算書

- ・ 運転資本の増加により、営業活動によるキャッシュフローは減少

（単位：百万円）



営業活動によるキャッシュフロー

- ・ 税金等調整前中間純利益+3,231
- ・ 売上債権の増加△5,071
- ・ 棚卸資産の増加△2,124
- ・ 仕入債務の減少△881

投資活動によるキャッシュフロー

- ・ 有形固定資産の取得による支出△537
- ・ 投資有価証券の取得による支出△203

財務活動によるキャッシュフロー

- ・ 長期借入れによる収入+1,000
- ・ 短期借入金の純増額+584
- ・ 配当金の支払△964

1. 2027年3月期第2四半期（中間期） 実績

2. 2027年3月期 業績予想

3. 株主還元

2027年3月期 業績予想

- ・ AI関連の設備投資、人手不足の深刻化を背景とした省力化・効率化投資の拡大が継続すると見込まれ、2Q業績及び直近の受注動向を踏まえ、5月公表値より上方修正
- ・ 売上高・各段階利益全て、過去最高の更新を見込む

(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 通期業績予想 (2026年5月8日発表)	2027年3月期 通期業績予想 (今回発表)	前年比 (今回発表予想)	5月発表予想比 (今回発表予想)
売上高	148,329	173,000	190,000	28.1%	9.8%
営業利益	4,058	6,000	7,640	88.2%	27.3%
経常利益	4,776	6,200	7,900	65.4%	27.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,265	4,200	5,500	68.4%	31.0%
1株当たり当期純利益（円）	212.35	270.01	352.75	—	—

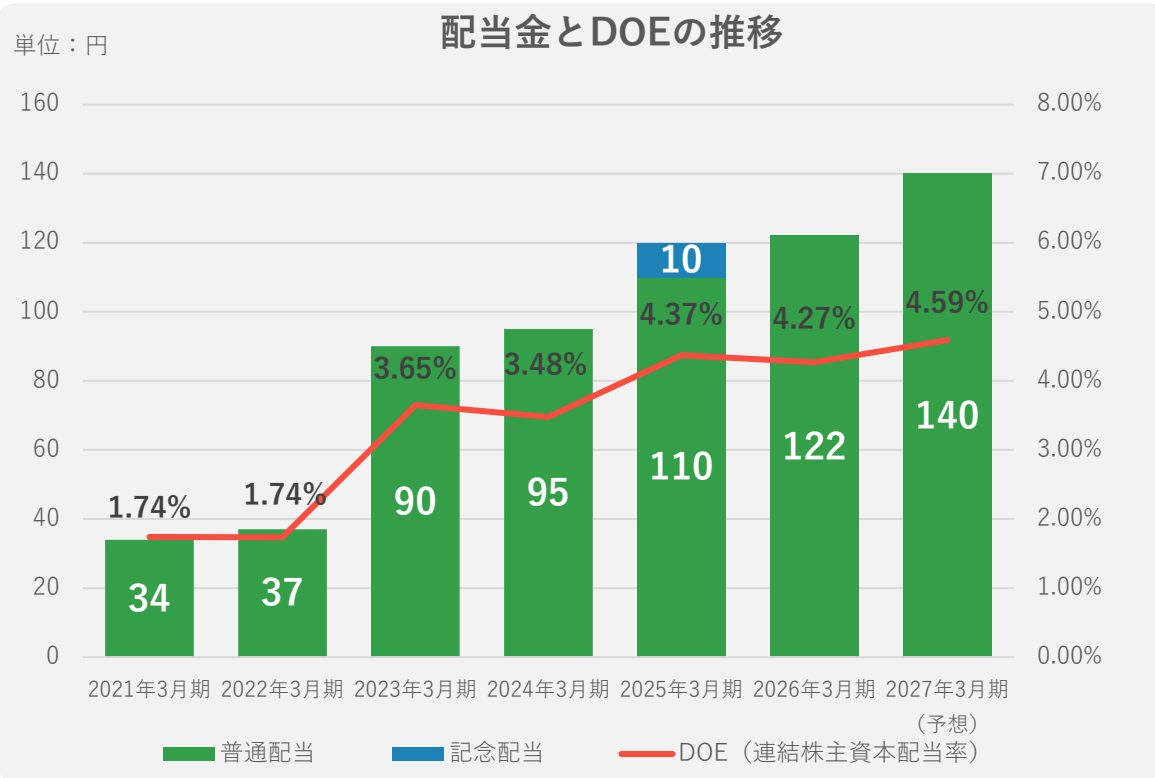
1. 2027年3月期第2四半期（中間期） 実績

2. 2027年3月期 業績予想

3. 株主還元

株主還元

- ・ 毎年の配当金はDOE（連結株主資本配当率）4.0%以上を目途に、継続的かつ安定的な配当を行うことを目標に実施
- ・ 2027年3月期中間配当・期末配当予想は5月公表値よりそれぞれ5円ずつ増配
年間配当は1株当たり140円（中間70円＋期末予想70円・DOE4.59%）とし、前年度（2026年3月期）実績の122円から18円増配となる見込み
- ・ 株主優待制度として、対象となる株主様の保有株式数に応じて、電子ギフトを進呈



株主還元方針

- ・ 持続的な成長と企業価値の向上のための積極的な事業展開や様々なリスクに備えるための財務健全性とのバランスを考慮したうえで、安定配当を維持しながら中長期的な視点で連結業績に応じた利益還元を行う
- ・ 毎年の配当金はDOE（連結株主資本配当率）4.0%以上を目途に、継続的かつ安定的な配当を行うことを目標に実施
- ・ 株主還元や資本効率向上のため、時期及び財政状況に応じて機動的に自己株式の取得を実施

株主優待制度について

当社は株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の認知度向上及び当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。

当社株式への魅力を一層高め、新たに投資を始める方にも当社株式を保有していただき、また、新NISAの投資枠を柔軟にご活用いただけるよう、対象となる株主様の保有株式数に応じて電子ギフトを進呈いたします。

1

対象となる株主様

毎年3月末日現在の
当社株主名簿に記載または記録された

100株（1単位）以上

保有されている株主様を
対象といたします。

2

株主優待の内容

対象となる株主様の保有株式数に応じて、
下記の金額分の電子ギフトを進呈いたします。

株式保有期間の制限なし

保有株式数	優待品目（電子ギフト）
100株～200株未満	2,000円分
200株以上～400株未満	5,000円分
400株以上～800株未満	10,000円分
800株以上～	20,000円分

3

進呈時期

3月末を基準日として、
定時株主総会にかかる招集通知に
「株主優待のご案内」を同封し、
年1回進呈いたします。



電子ギフト

PayPayポイント、dポイント、楽天ポイント
Amazonギフトカード、nanacoギフトなど

Appendix

	2027年3月期 想定為替レート	1円変動による影響額	
		売上高	営業利益
USD/JPY	148.00	509百万円	45百万円

※USD/JPYが1円変動し、他通貨も同じ比率で変動したと想定した場合の影響額

